



日本大使杯 2017 出場選手報告 及び指導から学ぶこと

マルハバン！

キューフハールク？アナタマーム！

先月のシュクラン日記では「2017 年度、第二回日本大使杯」について報告させていただきましたが、簡単な報告でしたので、今回は詳しく報告いたします。

2017 年 11 月 3 日金曜日、第二回日本大使杯柔道大会が開催されました。参加人数は昨年に比べ少し減少しましたが、大会的には素晴らしい開催となりました。

私の生徒からも 4 名が出場。他にも多数出場していましたが、違う道場の選手として出ております。これもまた UAE 特有で、選手が会費を支払うのではなく、道場が選手に給料を渡しているからです。年齢は関係なく、10 歳でも給料を貰っていました。そうしないと親が柔道をさせないそうです。その為、私の下で練習していますが、試合になると別の道場から出場することとなります。ですので、毎回試合になると、選手らが負ければ悔しいのは勿論ですが、上に上がれば上がるほど嬉しい気持ちが半分、選手が所属する各クラブのコーチがはしゃいでいるのを見て「感謝してね」というニヤニヤした自分

— 出来事 —

12 月 22 日～29 日、福岡で行われます、サニックス旗福岡国際中学生柔道大会へ参加いたします。

今月のアラビア語

「シェット ヘイラック、
シェッディ ヘイリック」

意味: Do your best!!

先攻: 男性、後攻: 女性

شكرا

シュクラン日記

12月号

もいます。

今回は、私の生徒から4人出場しました。4人共初試合です。私も緊張しました。選手たちは緊張感があったことでしょう。一回戦は足が棒になりガチガチの状態で行っていました。この内、1人が一回戦負け、他3人が銅メダルを獲得。皆準決勝で負けてしまいましたが、敗者復活戦に進み見事勝利しました。



初試合で銅メダル、今回は上出来でしょう！やはり自分の生徒が活躍する姿を見ると嬉しいですね。しかし、4人共メダルを取らせてあげたかったと悔しい気持ちもありました。一回戦負けの子も終始接戦で、負けた相手は決勝まで行きました。接戦だったからこそ悔しさも倍増。しかし、よく頑張りました。また次に向かって彼らは日々柔道に取り組んでいます。

柔道を伝えることの難しさ 相手の立場にたって考える

日々の練習で、伝わらないともあり、苦勞することも沢山あります。実際に、何故分からないのか自分自身も理解できない時があります。しかしながら、そこでイライラし、「何で分からないんだ」と言っ

てしまえばコーチとして失格だと私は考えています。いかに自分の柔道を分かりやすく伝えるか、生徒一人一人に理解力が違う、体力も筋力も違います。嫌なことがあり落ち込んでいて気が向かない時だってあります。自分の常識が他人の常識とは真逆の可能性も有ります。それに対し、自分の柔道を押し付けてしまうと柔道に興味を示さなくなる子が出てしまう。最近、私は怒らないようになりました(イライラはしますが笑)。怒る前に相手が何を考えているか考えるようになりました。

例えば、車に運転している時の急な車線変更や急な割込み、前まではクラクションを鳴らしたくらいイライラしました。後ろから長くクラクションを鳴らされる時などは、後ろに向かって手を挙げたい気持ちにもなりました。しかし、今では「何故相手は割り込んできたのか?」、「何故クラクションを鳴らしているのか?」と考えるようになりました。そんな中で、今までは自分の常識を中心として生きてきたのを感じました。

練習時も同じで、何故彼だけ理解できていないのかを考える。分かるまでとことん付き合う。それが出来るようになりました。理解している自分には、簡単であっても、彼にその教え方が理解できるとは限らないのですから。そう思ってから、彼はこの教え方をすると理解するのだな、彼女はこの教え方、こっちはこの教え方、生徒たちの理解力に応じて対応することの重要性に気付くことができました。柔道指導は本当に難しいです。自分で分かっているのに理解するのは彼ら自身なのです。今は伝わった時の嬉しさを求めて柔道指導しています。

実は大会前、柔道連盟の内部抗争により、開催が危ぶまれる事態が起きていました。それでも、何とか第2回大会を継続開催することができました。実施できたことは大変喜ばしい事なのですが、大会当

日、連盟のトップが誰も出席しないという事態に。UAE と日本を、柔道を通して国際交流を深めようと始めたこの大使杯ですが、連盟関係者が不在となると何の関係を深めたいのかわからない状態でした。今回の連盟内での問題も外国人の私たちではどうすることも出来ず、只々、時に身を任せることしか出来ませんでした。その影響もあり、今シーズンの大会は、今のところ日本大使杯のみとなっております。来年の全大会スケジュールもキャンセルとなり、決められない状態です。来年こそはスムーズに日本大使杯が開催できることを願っています。

光本健次先生 UAE 柔道巡回指導



光本先生を UAE へお呼びし、柔道巡回指導をしていただきました。その時の様子も写真を多めにご報告させていただきます。今回、光本先生にはフジャイラとアブダビにて指導をしていただきました。かなりのハードスケジュールにもかかわらず、楽しくためになる指導をして下さいました。グラندスラムを見学後、直接フジャイラでご指導いただきました。

フジャイラの様子は11月号に掲載しております。フジャイラでのご指導いただいたことにより、大きな一歩を前進することに成功しました。

3日間、ご指導下さり、最終日に合流した私と共にアブダビへ移動しました。午前中に移動を終え、午後には柔道連盟の体育館(兼タイタンスポーツア

カデミー)で指導をしていただきました。



練習開始のウォーミングアップ



円陣を組み、次に行く事の指示



UAE 唯一の女子代表であるメイサに指導



バランスのトレーニング指導の様子



ラダーを使った指導の様子

今回も光本先生には大変貴重な時間を UAE の柔道選手に下さいました。練習終わりには「楽しい柔道ができた」という生徒もいれば、「もう練習は終わりなのか」という生徒もいました。私も久しぶりに練習中、無言で熱中して取り組む生徒を見ました。時に笑い声も聞こえ、ただ厳しいだけではなく、今回も楽しい柔道を指導していただきました。

2017年と2018年へ

UAE では、思うようにできないことは多くあります。1つ何かやるごとに2つ以上のトラブルが必ず出てきます。しかし、その中でも生徒の為に何ができるか、そう考えているうちに UAE で1年が過ぎました。時が経つのかとても速いです。

2017年は私自身かなりハードな年でした。まず、UAE 代表の選手ですら無断欠席は当たり前。年間スケジュールははっきりと決まっていない。計画を

立てても思うようにいかない。文化の違い、自分と他人の常識と非常識。一年過ぎた今も慣れない部分もあります。しかし、この状況を辛いと思ったことはあまりなく、むしろ新しいことが多く楽しく感じています。更に、色々な方々に多く支援いただいております。今私が住んでいます部屋もジャパン石油開発株式会社 (JODCO)、国際石油開発帝石 (INPEX) 様のご厚意によりゲストハウスをお借りし、生活出来ております。今もこうして柔道発展・普及に全力を出せているのも皆様からのサポートがあるからこそだと日々感じております。

色々な国を見てきましたが、日本の文化ほど特別な文化はありません。例えば「挨拶の時に相手に頭を下げる」、「ありがとうをすいませんと言う」、「生肉を食べる」など、考えてみれば不思議なことが多いですね。そんな中で今では世界から日本の文化 (リスペクト・謙虚・他人への気遣等) が注目されています。以前より UAE からの観光客が増えたのも実感できます。現に、シーズンオフでも UAE から日本のフライトチケットが取りにくいように感じます。

2018年は更なる柔道発展を目指し、UAE から最高の選手を選出できるよう、私も生徒と一緒に精進していきたいと思っております。勿論、UAE チームのレベルアップ、そして最大の目標である UAE 柔道連盟の発展を胸に2018年に突入していく所存です。皆様より、「UAE の柔道は変わったな」と言われるように頑張ってます。「日々謙虚」いつも父親から言われる言葉です。この言葉はいつも私の頭の隅にあります。

「2018年、獅子が兎を捕らえる如く!!!」

(UAE 柔道連盟 原口直也)